首都圏再エネ共同購入プロジェクトについて



2025年3月17日

会社概要



基本情報

社名

株式会社 エナーバンク

本社

東京都中央区日本橋2丁目1-17 2階

設立

2018年7月10日

HP

https://www.enerbank.co.jp/

主要株主

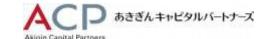














代表取締役/共同創業者 村中 健一

民間営業



- 慶應大学大学院理工学研究科でシステム最適化を 研究
- ソフトバンクで経済産業省HEMSプロジェクト主担当
- 電力自由化で電力事業の立ち上げおよび、電力見え る化プロダクト開発リーダー
- 孫正義の後継者候補ソフトバンクアカデミア3.5期生
- 2018年 共同創業計3名で株式会計エナーバンクを 起業



代表取締役/共同創業者 佐藤 永吾

BIZdev·自治体営業



- 国際航業で太陽光&蓄電池導入効果診断サービス 慶應義塾大学大学院を修了。日本放送協会 「エネがえる」の立上げ、事業企画・開発・運営の室長
- スマートシティ開発、グリーン電力証書発行事業立上 実績
- 官公庁・自治体向けエネルギーコンサルチーム責任者 歴任
- 電気料金関連の特許3件取得



取締役CTO/共同創業者 関根 大輔

プロダクト開発

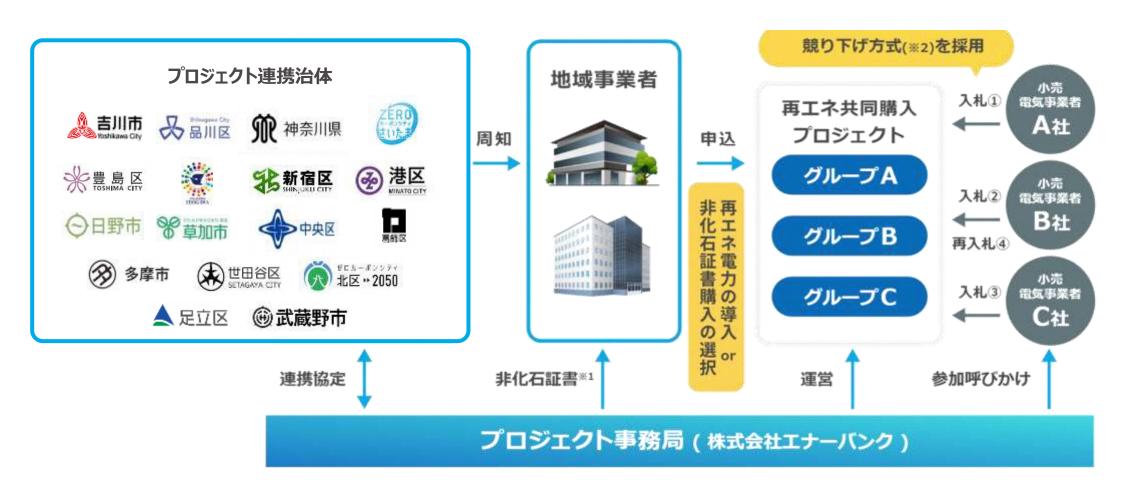
(経歴)

- (NHK) に入局、クラウドサービスを用いた双方向番 組を担当。
- NHK研究所に異動。放送と通信を連携させたサービス の研究に従事。
- 情報セキュリティスペシャリスト、電験三種、一級陸上 無線技術十、数学検定1級

首都圏再エネ共同購入プロジェクトとは



民間部門の脱炭素化に取り組む首都圏の自治体と連携し、再エネ電力や非化石証書の共同購入を 行うプロジェクト



電力リバースオークションサービス「エネオク」



- オークションに参加する小売電気事業者は、他社の入札価格を見ながら一定期間何度でも入札可能
- リバースオークション方式により、コスト削減と再エネ電力導入を同時実現



「エネオク」取扱実績 2024.11時点







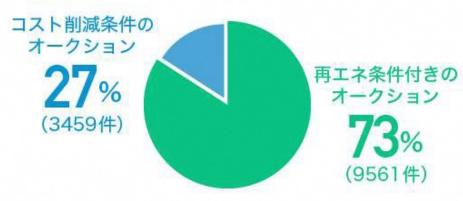
1319

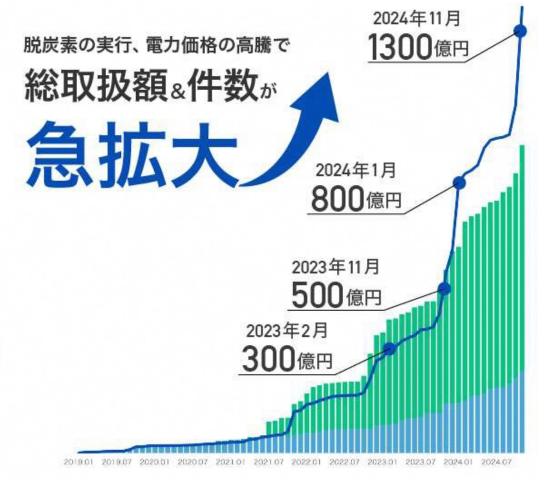
億円

総オークション数



13020施





@ enerbank

電力調達で共同購入プロジェクトが活用される理由

利用料無料

最短2ヶ月でゼロカーボン達成可能

電力特価 リバースオークションサービス

小売電気事業者は他者の入札価格を見ながら 何度でも再入札可能

電力切替 DX

調達業務にかかる内部コストを最小限に抑制しながら、

複雑・多彩な料金メニューを 同一条件で比較



共同調達によるスケールメリットの拡大

個別需要家で調達するよりもさらに安価な価格を引き出せる可能性あり





- 契約を切り替えた事業者の再エネ比率は全て100%を達成
- ・ コスト削減効果は、高圧で平均18.4%、低圧で平均13.7%
- プロジェクトによるCO2削減効果は、年間で約13,732tと試算

削減事例①:事務所

- 高圧13契約1,228kW 229万kWh/年
- 落札プラン:市場連動型
- 約1,500万円/年 22%の削減

削減事例③:事務所・ビル

- 高圧1契約278kW 46万kWh/年
- 落札プラン:固定単価型
- 約30万円/年 17%の削減

削減事例②:工場・事務所

- 低圧3契約 1万kWh/年
- 落札プラン:固定単価型
- 約7万円/年 14%程度の削減

削減事例④:美術館

- 高圧 1 契約850kW 170万kWh/年
- 落札プラン:固定単価型
- 約700万円/年 15%程度の削減

※電気料金の削減率は、地域電力の再エネを含まない標準メニューで設定した予定価格と比較

© 2025 enerbank inc.



2025年2月期(10月供給開始)の参加者を募集中

2025年2月3日~3月31日の期間で、プロジェクトに参加される需要家を募集しています



申込・問合せなど専用WEBサイトはこちら

首都圏再エネ共同購入

検索

申込フォーム





【問合せ先】

株式会社エナーバンク

東京都中央区日本橋2丁目1-17 丹生ビル2階

TEL: 03-6868-8463

Email: info-shutoken@enerbank.jp